

神戸市立博物館連携

特別講演会

日
時

6月30日 土曜日 (申込要)

午前10時～11時半 (受付:9時半より)

「神戸ゆかりの日本画家」

村上華岳と橋本関雪とその周辺

村上華岳- (明治21年～昭和14年)は、京都市立絵画専門学校(現:京都市立芸術大学)に学び、大正5年に第10回文展に出品した初の仏画(阿弥陀之図)により特選の荣誉に輝きます。そののち昭和2年から神戸の花隈に転居して精神性を優位に置いた作品を描くことに生涯を捧げ、孤高の中に制作を続けました。

橋本関雪- (明治16年～昭和20年)は、神戸市に生まれ竹内栖鳳の竹丈会(ちくじょうかい)に参加して日本画を学びました。洗練されたフォルムと明澄な色彩による制作に特質があります。後半生に制作された深い真情を表した動物画は、多くの人に強い印象を与え続けているのではないのでしょうか。



村上華岳《雪中兔》大正3年
神戸市立博物館蔵



村上華岳《観音之図》
昭和7年頃
神戸市立博物館蔵

会場

新長田勤労市民センター3階
講習室 2

講師

辻 智美
神戸市立博物館学芸員

6月8日(金)から受付開始
来館またはお電話で!

受講料

無料

先着40名

申込・問合せ

(公財)神戸いきいき勤労財団

神戸市立 新長田勤労市民センター 3階

〒653-0038 神戸市長田区若松町5丁目5-1

☎078-643-2431

【受付時間】午前9時～午後8時(日・祝は午後4時)

第3木曜日 休館 (JR・地下鉄新長田駅すぐ)

